

調查研究費

納入通知書兼領収書

(納付者保管)

令和6年度	納付書番号 6700031317-00-00
納付者	〒914-8501 敦賀市中央町2丁目1-1
	市民クラブ 様
議員タブレット通信料負担金(政務活動費) 対象期間: R6.10.16~R7.3.31	
納付金額	9,021円
納期限	令和7年 4月18日
所属	01050000 議会 議会
会計	01 一般会計
款	60 諸収入
項	25 雑入
目	15 雑入
節	10 各種負担金
細節	01 議員タブレット通信料
説明	05 議員タブレット通信料負担金
上記のとおり納めてください。	
敦賀市長 米澤 光治 印	
敦賀市	
上記のとおり領収しました。	領収済印
敦賀市指定金融機関等	

納付場所

- ・福井銀行 本支店
- ・北陸銀行 本支店
- ・福邦銀行 本支店
- ・敦賀信用金庫 市内本支店
- ・JA福井県 本支店
- ・東日本信用漁業協同組合 敦賀支店
- ・北陸労働金庫 市内支店
- ・敦賀市役所会計課窓口

65000164550001



廣 報 費

領 収 証

№017124

市民クラブ

様

令和 6 年 7 月 31 日

¥ 278,272 -

但し ニーズレター印刷代、折込金替代

上記の金額正に領収いたしました

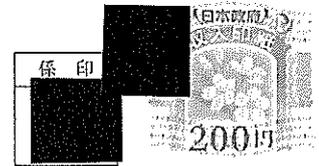
内 訳

現金	✓
小切手	
手形	
振込	

出版印刷  フォーム印刷
商業印刷 紙器

若越印刷株式会社

本社工場/〒914-0043 福井県敦賀市
電話(0770)22-5600(代) FAX(0770)22-5601
支店/東京 営業所/福井・小



※注意 社印及び係印なき場合は無効になります。



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.19

国策にどう向き合っていくのか? その1

6月定例議会:一般質問 人口減少対策の議論について

福井県など25道府県の知事で組織する「日本創生のための将来世代応援知事同盟」が人口戦略緊急アピールを採択しましたが、その中身は国に対して東京一極集中の是正、人口減少対策などの政策の見直しを求めるというものです。国の地方創生の取り組みが始まって10年が経過する中「人口減少の危機は解決していない」と指摘、政策を統括推進する司令塔の設置、国と地方、各界が連携して国民運動を巻き起こすような環境整備を訴えています。この同盟で、福井県知事も「人口減少社会に立ち向かうトップランナーを目指すという趣旨に共感し同盟に参加」とコメントしていますが、敦賀市は、国や福井県が取り組む人口減少対策について、今後どう向き合っていくのでしょうか?

質問内容

国策と言っても過言ではない人口減少対策について、敦賀市が率先して取り組む理由に加え、敦賀市民の税金をどこまで注ぎ込むのかを含め、今後の人口減少対策にどう向き合っていきますか?

市民の回答

具体的な施策の決め方については、しっかりと要因分析をして、効果がありそうな事業を国や福井県との役割分担、それから敦賀市としては人や財政のリソースを考慮しながらやっていくことに尽きます。ただ、人口減少対策は、日本だけでなく世界中で議論されているところで、現在のところ明確な切り札というか答えはないと思っています。

私の考え

人口減少対策に敦賀市が取り組んでいくことを理解する一方で、敦賀市民の税金をどれだけ注ぎ込むかの議論が今後も必要と考えます。私の一般質問で、司馬遼太郎さんの言葉を紹介したことがあります。それは「戦後の日本の繁栄は終わったと思った方がいい。これからは大国などといわず、世界の片隅で日本という国がひっそり暮らしていけばいいんです。あとはよき停滞、美しき停滞をできるかどうか。これを民族の能力をかけてやらなければいけないんです」という言葉ですが、明確な切り札がない人口減少対策を率先して取り組むことよりも、敦賀市で生活している皆さんがより幸せに暮らしていく方策を、能力をかけてやらなければいけないとも考えています。



事業の削減は、市民にとっても大きなメリットがある!

3月定例議会:一般質問 事務や事業の棚卸しについて

質問内容

現在の敦賀市の財政は、ふるさと納税がなかったら通常歳入で通常経費を賄えない状況との説明を受けましたが、敦賀市で行っている事業を削減するよう考えていますか?

市民の回答

予算査定の方法とプロセスを検討する中で、今後は通常事業も見直し、令和6年度をめどに、内容をまとめた財政改善に向けた方針を策定したいと思っています。

質問内容

約9年前、障がいのある方の4級医療費助成をなくしたことを今も悔やんでいますが、それだけ事業を削減することは大きな覚悟が必要なのです。あの時、共に市議会議員1年生だった市長は、そのことを覚えていますか?

市民の回答

議員になって1年目のことで、今思い出しても難しい判断でしたが、豊田議員が後悔していたことも覚えています。今後、事業を見直す中で、増やす事業もあれば、減らす事業もあると思いますので、それは一つ一つの事業を真剣に考えて判断していくことになると思っています。

私の考え

敦賀市の事業を削減することは、政治家である市長もしくは市議会議員にしかできないことです。事業を削減することは痛みを伴い、勇気もいることですが、私たちにしかできない事業削減の提言を今後も行う所存です。なぜなら、政治家は全ての市民の声に耳を傾けていけば良いというわけではなく、時に非難されたとしても、敦賀市の将来を真剣に見据え、自分の信念を貫くことも重要であると考えているからです。

国策にどう向き合っていくのか? その2

6月定例議会:一般質問 高レベル放射性廃棄物の最終処分地の議論について

佐賀県玄海町が原子力発電所の立地自治体で、初めて高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定に向けた文献調査を受け入れたことについて、福井県知事は「文献調査に手を挙げた自治体だけの課題ではなく、最終処分は電力の恩恵を受けている全ての国民が等しく考えていかなければならない課題」と述べ、福井県内の文献調査受け入れについては、「今そういう議論があるわけではない」と述べました。そんな中、玄海町長は「原子力発電所から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定に向けた第1段階の文献調査を受け入れたのは、議会の請願採択が決めた手になった」と説明。このような一連の首長の発言を受けて、国策である原子力政策、とりわけ高レベル放射性廃棄物の最終処分地について、敦賀市はどう対応すべきと考えているのでしょうか?

市長の答弁

「次期エネルギー基本計画」に原子力の更なる活用を組み込むためには「高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定」をいかに具現化することが重要であり、原子力立地自治体である敦賀市も、しっかり役割を果たしていく必要があるのではないのでしょうか?

市長の答弁
(一部)

今後も原子力利用を進めていくということであれば、必ず取り組まなければならない課題が3つあると思っています。1つ目が福島復興、2つ目が万が一に備えた原子力防災対策の充実強化、3つ目が高レベル放射性廃棄物最終処分などのバックエンド対策です。これらは決して立地だけの課題ではなく、電力の供給を受けてきた国民全体で共有しなければいけない課題で、立地、立地以外で立場や果たすべき役割が異なるものではないというふうに考えています。立地以外の地域でも建設的な議論がなされるように、国が責任を持って取り組んでいただきたいと考えています。

私の考え

原子力政策が国策であることに加え、原子力政策について賛否が分かれていることも承知しています。ただ、国の動向を待っている間も高レベル放射性廃棄物は増え続けています。既存の原子力発電所の再稼働や建て替え、新增設などの議論も大切だと思いますが、既に存在する高レベル放射性廃棄物の最終処分地の選定に向けた議論は、私たち政治家が矢面に立って、真剣かつ早急に進めていく必要があると考えています。



編集後記

年に2回「豊田こういちレター」を発行していますが、今回は久しぶりに新聞折り込みさせて頂きました。今回ご紹介した一般質問では「国策」と「政治家の責任」の2つのワードを意識して質問を組み立てましたが、10年以上にわたる会社経営や4人の息子の子育ての経験から、小さなお金を大切に未来のために蓄えておくことを重視して活動してきました。行政においては、スリム化によってコストの削減を図り、削減分を市民の幸せ向上につなげていくことに加え、将来の敦賀市を見据えた未来への投資も必要だと考えています。また、国策である人口減少対策と原子力政策については、2つの政策の費用対効果や経済効果を考慮して、未来への投資として相応しいかどうかの判断が重要になると考えています。そして、今後ふるさと納税がなかったとしても、安定的な財源確保と健全財政を維持できるように事業の削減についても訴えましたが、たとえ市民の皆さんから嫌われたとしても、敦賀市の将来を見据えた事業削減などを提言することこそ政治家の責任だと考えています。

直近2回の一般質問では、市職員の働きやすい職場環境の構築に加えて、職員の働き方についても一般質問を行いました。市民の方から「夜の10時に市役所前を通ると、いつも市役所の電気がついている」との指摘を何度か受けたことがあり、皆さんの税金から支払われる人件費や光熱費などの削減も考慮して、超過勤務の削減、および勤務時間と市役所の開庁時間が同じであることなどを指摘したところ、各課から「朝礼などの働き方の改善に向けた配慮を行うようになりました」との報告を受けました。このように、市職員の職場環境改善が、結果的に市民の幸せにつながっていくとの考えのもと、今後も市職員の職場環境や働き方を考慮して、行政をスリム化しコストの削減を図れないか模索していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



豊田こういちレター Vol.19

2024年7月21日発行
発行責任: 市民クラブ
編集責任者: 豊田耕一

YouTuberにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも是非ご覧ください!
政略をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com



領 収 証

敦賀市議会 市民クラブ 御中

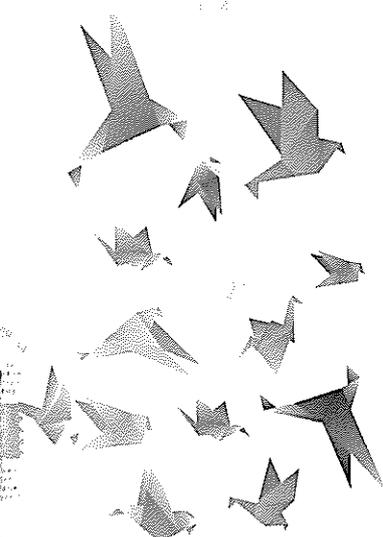
合計領収金額 **¥233,422** —

上記金額 (消費税 21,220 円含む) を正に領収致しました。

軽減税率等の対象商品は取り扱いしておりません。
適格請求書発行事業者登録番号 T5210002010500

但し やまたけニュース Vol.23 請求分

領収日 R07年 01月 24日



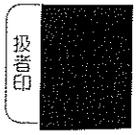
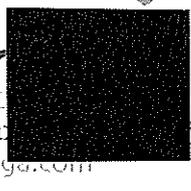
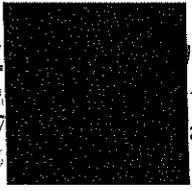
ネットワークつるが



START UP BASE



有限会社 **ネ**
〒914-0802 福井
tel.077-
https://



まっすぐ誠実に粘り強く

● E-mail : yamatake@yamamoto-takeshi.net
● TEL : 090-9766-7645



市民クラブの山本たけしです。

新たな年を迎え、皆様健やかに過ごしのことと存じます。

さて、敦賀にとって「歴史の転換点」といえる北陸新幹線開業から9ヶ月が経過し、主要観光施設の来場者は前年同期比の1.4倍とのこと。こうした「開業効果」から、今後は市民の皆様へ“実感”いただける「真の新幹線効果」に向け、敦賀市においても各施策を展開するところであり、私自身もその実現に向け、引き続き尽力してまいります。

今回のニュースも市議会のトピックスや自身の活動内容を中心に報告いたします。ぜひご覧ください。



令和6年第4回(12月)定例会が開催されました

11月26日より、22日間の日程で行われた12月定例会では、国の経済対策に係る補正予算を踏まえた追加議案提出を受け、12月16日には日程を追加して本会議等を開催するなど、各議案について慎重に審議しました。

結果、全26議案を全件可決、陳情第1号「教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情」(請願扱い)を採択のうえ、12月17日に閉会しました。



報告 1 令和6年度敦賀市一般会計補正予算(第7号及び8号)について賛成

今定例会に提出された第67号議案「令和6年度敦賀市一般会計補正予算(第7号)」については、以下をはじめ多くの事業が計上されました。

- 粟野地区(櫛林地係)における認定こども園建設に係る設計(2692万9千円)
- 新幹線開業後の状況等を踏まえたコミュニティバスのダイヤ改正準備(920万7千円)
- 港都つるが株式会社と一般社団法人敦賀観光協会の一体化による「新たなまちづくり会社」の設立に向けた人件費や備品購入費等の補助(2182万円)
- 学校や教室に居づらさを感じる児童生徒の居場所づくりを目的とする「校内サポートルーム」の環境整備(小中学校合わせ394万6千円)

また、追加で提出された第81号議案「令和6年度敦賀市一般会計補正予算(第8号)」については、国の経済対策等を含む補正予算案を受けた、非課税世帯等への物価高騰支援給付金や学校給食の賄材料費の補正などが計上されました。

市民クラブとしては、各事業の目的や費用の妥当性を確認したうえで、物価高騰対策など喫緊の対応に加え、子育て環境や公共交通機能の向上に寄与するものと判断し、本予算案について「賛成」しました。



報告 2 「敦賀の宝」を守る文化財センター整備

第67号議案で、元成新小学校敷地を活用し新築整備するための実施設計費用(1934万5千円)を計上した「文化財センター整備事業」。

平成12年に文化庁より「出土品の保管に関する基準」が通知され、結城町に「文化振興課分室」を開室し、出土品の整理、保管展示をしてきましたが、平成30年度までに、基準に沿った保管ができないほど出土品が増加(約2,000箱)したことは、豊富な歴史を有することの裏返しと認識するところ。

さらに、旧葉原小学校の博物館資料も収蔵スペースがなくなったことから、上記の埋蔵文化財を含め、整理、保管、活用すべく、総合的な文化財センターの設置を検討してきたもの。

基本設計では、元成新小学校敷地北側に配置、既存資料を収蔵できかつ同数以上の空きがある収蔵庫を有するとともに、作業場、研修室、書庫・閲覧室、学芸員の常駐事務所などの機能を持つセンターを設置するとしています。

文化財センター建設工事は、令和9年夏休み明けに予定されている(同敷地内に建設予定の)「給食センター」稼働開始までに完了するスケジュールであり、悠久の歴史を誇る「敦賀の宝」の保存、新たな発掘や活用につながることを切に期待する次第です。

<埋蔵文化財整理作業の様子>



11月20日 議員説明会資料(教育委員会)より写真部分を抜粋



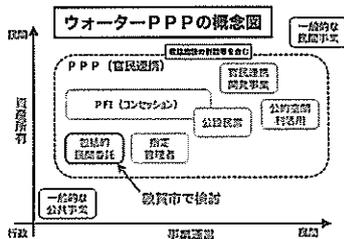
提言 1 持続可能な上下水道事業に向け「ウォーターPPP」の導入は必要!

今定例会で、導入可能性調査業務委託を進める予算を確認した「ウォーターPPP」。PPPとは「パブリック・プライベート・パートナーシップ」の頭文字を取ったもので、行政と民間が連携して公共事業に取り組む事業手法のことを言います。

24時間365日稼働するネットワーク型インフラである上下水道事業は、他自治体と同様、敦賀市においても人口減少(料金収入の減少)や設備の高経年化対応、職員数減少などの課題から、将来に亘り持続可能なかという局面にあっています。

そうしたなか、今後は特に、人材のリソース不足が大きな課題であり、包括委託の拡大による対応ではコスト増となること、人材不足の課題は民間も同じであることなどから、事業スケールの確保や長期契約(民間の雇用確保)等の要件を備えた官民連携の枠組みである「ウォーターPPP」導入を検討するもの。

こうしたことから、私は「ウォーターPPP」導入は必要との考えであり、上水道では敦賀の「美味しい水」を、下水道では安全安心の市民の暮らしを守るための方策として、着実に進めていただきたいと思います。



11月20日の議員説明会資料(水道部)を「やまたけNEWS」にて一部編集

提言 2 もんじゅ敷地内に設置する「新試験研究炉」への期待は不変!

新試験研究炉に関しては、国土院が昨年10月に「もんじゅ」敷地内に活断層の可能性がある「推定活断層」が存在することを示す活断層図を公開したことを受け、「客観的なデータ等のエビデンスを用意し審査基準への適合性を示す必要がある」との見解が原子力規制庁から示されました。

これを踏まえ、昨年中に公表するとしていた、**新試験研究炉の建設予定地及び設置許可申請見込み時期決定の時期については、今後の調査の進展を踏まえて改めて示すとの説明が文部科学省からあったところ。**

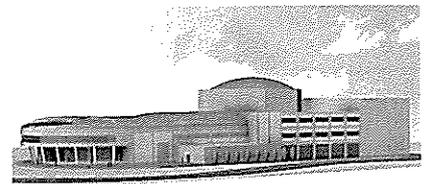
公表の延期は誠に残念であるものの、日本原電の敦賀発電所2号機と同様、今後の調査により、科学的根拠をもって「活断層ではない」ことを証明されると信じるところです。

なお、第7次エネルギー基本計画原案で明記された、「福井県敦賀工リアを原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点に整備していく」中心的役割を果たす新試験研究炉。

将来的には、多くの産業利用をはじめ、学生や国内外の原子力研究者が、ここ敦賀に集い、学び、磨いた技術や成果をもって世界で活躍する。

その環境が早期に構築されることへの期待に変わりはありません。

新試験研究炉のイメージ図(日本原子力研究開発機構 新試験研究炉推進室HPより引用)



活動スナップ



11月30日

大比田区での活動報告会(市内各地域の皆様、ぜひお声掛けください!)



12月5日

連合福井嶺南地域協議会「労働相談ホットライン」街頭行動



12月22日

「子どもの国リニューアルに関するワークショップ」に参加 デジタルサイネージ等を活用した展示あり

市民総ぐるみで取り組む「災害に備えるまちづくり」

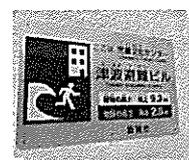
令和6年能登半島地震から1年。本年1月10日には敦賀市防災会議が開催され、同地震での経験や課題を踏まえ、津波発生時における避難指示区域の設定や津波避難ビルの指定、指定避難所開設支援制度の創設等、敦賀市地域防災計画(案)の改定等がされたところ。

また、改定に先立ち、昨年12月20日には、敦賀で初の「津波避難ビル」に指定された児童文化センターにて実施された、隣接する子育て施設の園児と職員を対象とした津波避難訓練では、先生方の指示に従い、一生懸命に避難する園児たちの姿に、気比の松原のすぐ近くに垂直避難先が設置されたことの意義は極めて大きいと感じました。

能登半島地震発生を受け、地域住民や市防災士会からの声、議会からの意見提起なども踏まえ、敦賀市が進める

こうした対策を実効性あるものと評価する次第です。

1月17日には、阪神・淡路大震災から30年を迎えました。この震災の年が「ボランティア元年」と言われるよう、大災害から得た教訓を必ず生かすことで防災力を高めることができるの思いのもと、引き続き、市民総ぐるみで「災害に備えるまちづくり」に取り組んでいければと考える次第です。



12月20日に開催された津波避難訓練の様子



領 収 証

№017388

市民クラブ 豊田 耕一 様

令和 7 年 3 月 13 日

¥ 139,700 -

但し 豊田こいのちニズエター Vol.20

上記の金額正に領収いたしました

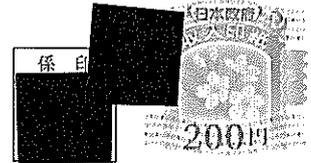
内 訳

現金	✓
小切手	
手形	
振込	

出版印刷 フォーム印刷
商業印刷 紙器

若越印刷株式

本社工場/〒914-0043 福井県敦賀市
電話(0770)22-5600(代) FAX(0770)22-5601
支店/東京 営業所/福井・小浜



※注意 社印及び係印なき場合は無効になります。



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター



市職員の逝去を無かったことにしてはいけない

9月定例議会：一般質問 ひとりの市職員の逝去について

発言趣旨

令和6年8月20日、ひとりの市職員が逝去されました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。ひとりの市職員は、前日の夜までご家庭で普段と変わらない様子で過ごしておられましたが、その数時間後に自ら命を絶つという哀しい決断をされました。ご遺族は、その原因がどこにあるのか分からず、今も大変苦しんでおられます。

今定例会の一般質問では、ひとりの市職員の逝去を「無かったことにしてはいけない」という一心で議場に立ち、市に徹底的な調査を求めるとともに、メンタルヘルス診断の活用等による再発防止も含め、市の対応方針等の提言を行いました。

質問事項①

市職員の力を最大限に生かし、安全・安心かつ働き甲斐のある職場であること、それを確保することが市長として重要な使命であると私は考えています。その点からも、ひとりの市職員の逝去という事案は、これまでの市行政の中において、最も大きな出来事であることに間違いはないと考えますが、市長は今回の事案をどう捉えているのでしょうか。

市長の答弁

市としてどうにかして防ぐことができなかったのか、無念の思いしかありません。この無念を深く胸に刻み、今後の職場づくりを生かしていくことが、自分の使命であると強く感じています。

質問事項②

私は、ひとりの市職員が逝去した事実を絶対に「無かったことにしてはいけない」と考えています。また、ご遺族は丁寧で真摯な内部調査、および可能な限り早い調査報告を求めておられますが、ご遺族の思いに市長はどう向き合っていくのでしょうか。

市長の答弁

「無かったこと」には決してできないということ。今の思い、無念さは胸に刻んで忘れることは無いと感じています。今後は、ご遺族と十分に相談をしながら真摯に対応していきます。

私の考え

私は今回の一般質問を行うにあたり、市職員をはじめ多くの方々から情報提供を受けましたが、その内容をここで一切紹介しなかったことに対して、情報をくださった方々からすると物足りなさを感じておられるかもしれません。しかしながら、私がひとりの市職員の逝去と向き合うことは、まだ始まったばかりです。これからも徹底的に調査等を行ってまいりますので、引き続きご協力よろしくお願いたします。



この一般質問後、ご遺族と市との協議を経て12月定例会の一般質問初日に、ひとりの市職員が勤務していた当時の様子や自死に至った原因等について調査するため、第三者調査委員会の設置が決定しました。

調査委員会の冒頭、市長は「市としても職員が亡くなったことを重く受け止めていて、職場で起こった事実確認と再発防止に全力を尽くしたい」と述べました。今回の調査委員会では、12月中に2回の会議を開催して独自の聞き取り調査等に取り組むことを決めましたが、調査委員会の委員長からは「調査に時間を長くかけるのはよくないということ、会議を密にやるということ委員の意見が一致した」との報告がありました。引き続きご遺族が求める丁寧で真摯な内部調査、および可能な限り早い調査報告を求めていきます。

12月定例議会:一般質問 逝去した市職員への対応について

発言趣旨

先の一般質問「ひとりの市職員の逝去について」では、市職員の自死の原因究明と再発防止を求めましたが、その一般質問の日に、ご遺族から市による詳細な内部調査と報告を求める「市職員の自死に至る原因と背景に対する内部調査ならびに再発防止に向けた取組の要望」が市長へ提出されました。その後、市長はじめ副市長や総務部とご遺族との面談が数回開催されましたので、今回の一般質問では、現在までの市の対応状況の確認に加え、今後の方針等について提言を行いました。

質問事項

市では職場のハラスメントに関するアンケート調査等を行っていますが、今後のハラスメント対策について、市長はどのように考えているのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

市職員へのアンケートを通して、職場のハラスメントの実態を把握するとともに、ハラスメント防止に向けた意見、提案も伺っていますので、それらをしっかりと踏まえ、的確な対策を実施していきたいと考えています。

12月定例議会:一般質問 市役所の職場風土の改善について

発言趣旨

今回の一般質問では、ハラスメントを撲滅させる職場風土づくりはもとより、チャレンジの促進、ほめる職場、市職員の頑張りを評価する職場風土に加えて、市職員の可能性を伸ばす研修制度等、魅力的な職場風土づくりといった市の職場風土の改善に向けた提言を行いました。

質問事項

ひとりの市職員の逝去を受けて、市役所の職場風土を変えるリーダーである市長には、リーダーシップを発揮して、継続的な改革、改善をお願いしたいと考えています。このことについて、市長はどのように考えているのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

市職員の死亡事案により、改めてメンタルヘルスケアや、より良い職場環境づくりに絶えず取り組んでいくことが大切であると痛感しています。今後しっかりとリーダーシップを発揮して継続的な改革、改善に取り組むことを約束します。

私の考え

市として職場風土をどのように改善していくのかについて、私も今後しっかり向き合っていく所存です。なぜなら、市の職場風土を改善することが、市の発展および住民福祉の増進に繋がると信じているからです。

これまでの一般質問を行うにあたり、市職員をはじめ多くの方々から情報提供を受けましたが、ご遺族は引き続き「職場でのわが子の様子」について、情報提供を求めておられますので、これからも皆さんの勇気を与えてくださいますようお願いいたします。



編集 後記

ひとりの市職員が逝去されて、本日がちょうど半年目の月命日になります。私にとってこの半年間は、あっという間に過ぎたようで、とても長かったようにも感じています。そして、ひとりの市職員の逝去と向き合った半年間は、多くの方々から情報やご意見を頂戴した半年間でもありました。それは市民の方々はもとより、私のブログやYouTubeをご覧いただいた市外県外の方々からも同様ですが、頂戴したメールの中には「役所勤めのご家族の自死」という内容もありました。その文章の最後に「私たちには寄り添ってくれる人がいなかったのに泣き寝入りをしたが、もし、あなたみたいな人がいてくれたら戦えたと思います。だから私たちの分まで頑張ってください」という言葉もありました。この半年間、批判を受けることもありました。多くの方々の支えで頑張ることができました。これからも逝去された市職員とご遺族はじめ、今も苦しんでおられる方々に寄り添わせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。



豊田こういちレター Vol.20

2025年2月20日発行
発行責任: 市民クラブ
編集責任者: 豊田耕一

YouTubeにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも是非ご覧ください!
政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田川66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com



領 収 証

No017394

市民クラブ

様

令和 7 年 3 月 26 日

¥ 437,800 -

但し 今川ひろし市議会だよりNo.12
上記の金額正に領収いたしました

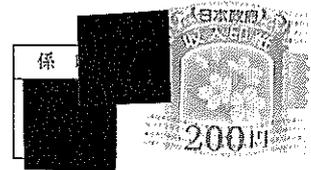
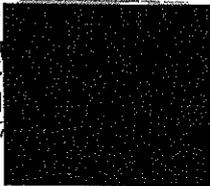
内 訳

現金	✓
小切手	
手形	
振込	

出版印刷  フォーム印刷
商業印刷 紙器

若越印刷株式

本社工場/〒914-0043 福井県敦賀市
電話(0770)22-5600(代) FAX(0770)22-5601
支店/東京 営業所/福井・小



※注意 社印及び係印なき場合は無効になります。



いまがわ

敦賀市議会

2025年4月

No.12



今川ひろし市議会だより

発行責任者：市民クラブ 編集責任者：今川 ひろし

陽春の候、皆さまにおかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は、私の議員活動に対し格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年第一回敦賀市議会定例会が令和7年2月19日(水)から3月18日(火)の28日間行われ、6年度補正予算及び7年度当初予算などを審議しました。それらのうち主な7年度当初予算を今議会だよりにて紹介いたします。

また、市議会会派の構成も変わり、各常任委員会、特別委員会、議会選出委員等についても新たに編成されましたので各委員会の役割等及び私今川ひろしの所属委員会などを、皆様にお知らせいたします。

「市議会会派の構成」

市民クラブ……………(代表)今川 博 (副代表)豊田 耕一 (幹事長)山本 武志

市民クラブの政策目標 地域の課題、職場における働き方改革への取り組み

市政会……………(会長)有馬 茂人氏 外9名

あたらしい敦賀………(代表)籠 太一朗氏 外4名

日本共産党……………(代表)山本貴美子氏 外1名

公明党……………(代表)中道 恭子氏 外1名

「今川 博 所属各常任委員会」

文教厚生常任委員会 7名……………(副委員長)今川 博

「委員会の所管事項」

福祉保健部、文化交流部、市立敦賀病院、及び教育委員会の所管に属する事項を行います。

予算決算常任委員会 21名……………(委員)今川 博

「予算決算常任委員会の所管事項」

一般会計、特別会計、企業会計の予算又は決算に関する事項を行います。

「特別委員会」

新幹線開業後まちづくり特別委員会 8名……………(委員長)今川 博

「委員会の所管事項」

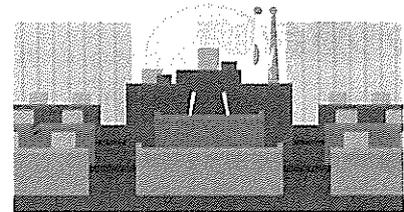
敦賀まちづくり協議会、(株)港都つるが観光協会、金ヶ崎エリア整備、神楽町～本町～駅前商店街、気比神宮周辺整備に関する具体的計画の検証等を行います。

「議会選出委員等」

敦賀美方消防組合議会(敦賀市、美浜町、若狭町より選出) 9名……………(議員)今川 博

敦賀都市計画審議会 5名……………(委員)今川 博(都市計画に関する事項の調査・審議)

敦賀美浜地域開発協議会 10名……(委員)今川 博



予算の規模

敦賀市一般会計当初予算

404億5,330万2,000円

(前年度比 1億6,570万3,000円 0.4%増)

	7年度 当初予算	6年度 当初予算
一般会計	404億5,330万2,000円	402億8,759万9,000円
特別会計 (国民健康保険等)	130億3,814万8,000円	135億7,501万9,000円
企業会計 (市立敦賀病院、水道、 下水道事業会計)	174億9,701万5,000円	171億8,031万8,000円
合計	709億8,846万5,000円	710億4,293万6,000円

◎令和7年度敦賀市当初予算のポイント

令和7年度当初予算は、第8次敦賀市総合計画の成果目標である「将来を見据えた人口減少対策(好循環モデル)の実現」に向け、全庁的に人口減少対策を推進するとともに、北陸新幹線敦賀開業の効果を最大化・持続化できるよう、敦賀のまちづくりを進めるため、4つの重点施策の予算となっており重点施策の一部を紹介致します。

◎4つの重点施策

- 重点施策① 【子育て・教育】 子育て。教育は敦賀で育むプロジェクト
- 重点施策② 【定住・移住】 敦賀で過ごすプロジェクト
- 重点施策③ 【地域経済】 選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト
- 重点施策④ 【安心と暮らしやすさ】 楽しく、安心して住む敦賀プロジェクト



◎重点施策①【子育て・教育】

※【こどもの国リニューアル事業費 2億1,314万円】

子育て環境充実の一環として、こどもの国の屋内施設のリニューアルを行うための実施設計、施工を行い、またリニューアルに合わせて施設整備をおこない、令和8年春リニューアルオープン予定です。

※【学校ICT環境整備事業費 (小) 2億434万円 (中) 1億1,793万円】

令和2年度に整備した市内公立小中学校の学習用端末を更新します。

- 購入台数 児童用3,263台 生徒用1,893台
- 購入単価 端末1台当たり 55,000円(税込)



◎重点施策②【定住・移住】

※【定住移住促進事業費 1,938万円】

定住移住を促進するため、移住定住サポートサイトのリニューアルを行います。また、福井大学敦賀キャンパスの学生への家賃補助について、利便性や地域への経済効果の観点から「ふくいはぴコイン」を導入します。



※【企業人材確保支援事業費 737万円】

市内企業の人材確保のための取り組みを支援するとともに、市内企業に就職した方へ官民連携により奨学金返還を支援します。

◎重点施策③【地域経済】

※【まちづくりアクションプログラム推進事業費 1,318万円】

令和6年度に策定・公表する「敦賀まちづくりアクションプログラム」に基づき、旧北小学校跡地を含む気比神宮周辺エリアの再整備について市民意識調査や導入機能の検討等を行います。

※【神楽通り道路空間再整備事業費 2億4,767万円】

気比神宮前の神楽通り(市道2号線)において、景観に配慮した道路空間の再整備を行います。(工事内容市道2号線道路整備工事L=250m)

※【金ヶ崎周辺魅力づくり事業費 6億7,460万円】

金ヶ崎エリアにおける賑わい創出施設等の整備に向け、公園や駐車場等の実施設計及び整備工事を行います。また、敦賀港線廃線敷きの整備を行うため、基本計画の策定を行います。

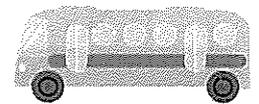
※【金ヶ崎周辺魅力づくり事業用地取得費 4億6,994万円】

(仮称)敦賀みなと公園事業用地として、JR貨物株式会社より5万8,749㎡を取得。

◎重点施策④【安心と暮らしやすさ】

※【コミュニティバス等運行事業費 2億3,999万円】

コミュニティバス運行に係る事業費(11路線)、ぐるっと敦賀周遊バス運行事業費



※【交通弱者移動支援実証事業費 1,535万円】

高齢等の理由により、コミュニティバスだけでは日常の移動が困難な交通弱者を支援する為一部地域に居住する高齢者を対象とし、通院目的のタクシー利用について運賃の一部を市が負担します。

※【各種予防接種費 2億1,976万円】

予防接種法に基づく定期予防接種に加え任意予防接種を行い、感染症の発生及び重症化の予防に努めます。



※【地域防災拠点整備事業費 1億1,430万円】

市内10地区における公民館等を地域の防災拠点と位置づけ、TKB(トイレ、キッチン、ベッド)を中心とした資器材を購入し、避難環境整備を行います。(令和6年度3月補正予算)

3月議会での一般質問 3月7日(金)

※3月議会では、金ヶ崎エリアにおける賑わい創出施設等の整備に向け、公園や駐車場等の実施設計及び整備工事、敦賀港線廃線敷の基本計画策定等について質問しました。

【質問】 別紙①～⑧写真参照

金崎宮の下部付近、線路敷き部の曙町区域には、土砂災害特別警戒区域が指定されており、(仮称)敦賀みなと公園や駐車場等の整備工事において土砂災害対策工事の必要性を伺います。

【回答】

公園、駐車場等の実施設計時点において既存の間知石等現地調査を行い、必要が認められたら、対策工事を検討したいと思えます。(所感 防災対策工事の検討が必要と思われる。)

「質問」

昨年6月に公表された敦賀市津波ハザードマップでは敦賀港での最大津波高は2.3mと想定されているが、昨年能登半島地震で敦賀湾に津波警戒警報が発令され、市内各所にて避難に伴う混乱が生じ、敦賀市地域防災計画にも記載されておりますが対応策を伺います。

「回答」

避難対策等事前に検討して行く。(所感 昨年の能登半島地震の教訓等、津波に対しての検討が必要と思われる。)

「質問」

当初予定の民間事業エリアでのオーベルジュ計画(ワンランク上のホテル建設計画)、マルシェ等(レストラン、その他物品販売等)の計画を伺います。

「回答」

最近、事業者(前田建設工業(株)、(株)アクアイグニス)において実施設計に取り掛かったと、伺っており、それと並行して事業の採算検討を行うと聞いております。(所感 令和4年3月22日に敦賀市と「敦賀市における賑わい施設整備協定書」が締結され3年経過しており、敦賀市より建設の可否の判断を早急に事業者に求めるべきである。また、金ヶ崎エリアの公園、駐車場計画全体、及び敦賀まちづくりアクションプログラム等の計画内容を敦賀市民への対面での説明の実施がないと、市民との共有がなされないと思われる。) ※その他の質問事項については、次回市議会だよりにて掲載いたします。

昨年12月議会での一般質問

※12月議会では国道476号の歩道未整備区間について、道の駅の整備検討状況について質問しましたので今回掲載致しました。

「質問」 別紙⑨、⑩写真参照

国道476号の歩道未整備区間として、新幹線工事の最盛期には大型トラック等の通行により整備が遅れて、その後新幹線工事が完了しても予算等の関係で未着手、また私の議会質問で過去3回申し入れているが、現在の大蔵より三和橋間の約200m区間の整備時期を伺います。

「回答」

事業主体である福井県からは、令和7年2月から大蔵地系の約200m区間の歩道及びのり面工事が完了後、幅2.5mの歩道整備工事(事業費約5億円)を予定、また、大蔵、余座地区の区長、農家組合長へ説明、地元周知していると聞いています。

「質問」 別紙⑪、⑫写真参照

道の駅整備について、新幹線敦賀駅東口側の地元地区の要望として、きらめきスタジアムと国道8号バイパスに挟まれた遊休農地があり地域活性化策として道の駅建設を伺う。

「回答」

場所を特定しているわけではないですが、一つのアイデアとして承りたいと思います。
(所感 道の駅整備は市長選挙公約であり、地域活性化の為にも検討を進めるべきと思われる。)

とことん現場主義で市民協働のまちづくり！

皆様のご意見

ご要望をお聞かせください。

敦賀市議会議員

今川 ひろし

連絡先 〒914-0013 敦賀市谷口4-28
TEL/FAX: 0770-25-3427
携帯番号: 090-1599-0264
E-mail: h.imagawa1205@arrow.ocn.ne.jp



①金崎宮登り口付近、斜面部（土砂災害特別警戒区域）状況
※一部斜面部に土砂崩れの状況が見られます。



② JR 貨物より用地取得地、状況



③金ヶ崎、南側斜面部（土砂災害特別警戒区域）、状況
※一部斜面部に土砂崩れの状況が見られます。



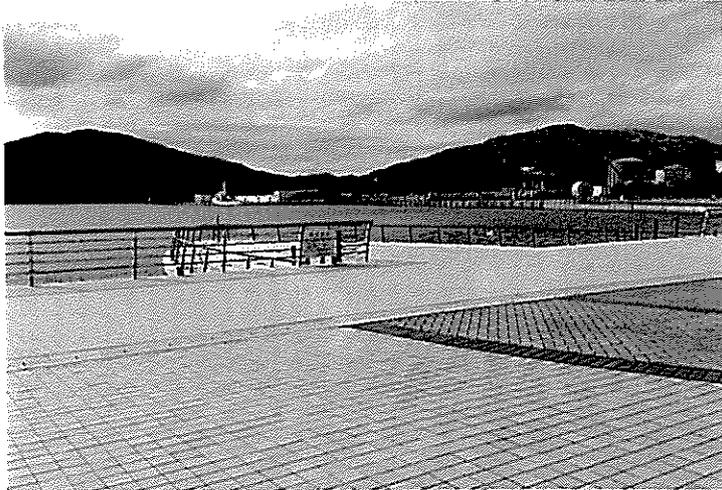
④曙町区域、廃線敷（天筒山危険区域）状況
※天筒山が迫り危険区域の指定がされています。



⑤金ヶ崎地区、急傾斜地崩壊危険区域、状況
※金ヶ崎、金前寺、裏付近擁壁設置現況



⑥金ヶ崎地区、急傾斜地崩壊危険区域、表示看板
※金ヶ崎、金前寺、裏付近に昭和47年9月指定看板状況



⑦緑地公園、オーベルジュ計画、予定地状況
 ※能登半島地震時の津波対応の検討が必要と思われる。



⑧緑地公園、オーベルジュ計画、予定地状況
 ※能登半島地震時の津波対応の検討が必要と思われる。



⑨国道476号、大蔵付近片側通行規制、状況
 ※令和3年度 交通センサス、3,375台1日当り
 (敦賀市道路河川課、提供資料より)



⑩国道476号、大蔵付近片側通行規制、状況
 ※令和3年度 交通センサス、3,375台1日当り
 (敦賀市道路河川課、提供資料より)



⑪国道8号バイパス付近、遊休農地状況
 ※道の駅、地元要望、整備候補地



⑫国道8号バイパス付近、遊休農地状況
 ※道の駅、地元要望、整備候補地

資料作成費

発行日: 2024年12月10日

領収書

本業

¥13,961 (内消費税 ¥1,269)

但し 印紙 代として。

管理No. 1094-403-0006685

伝票No. 1094-403-129262

支払内訳
現金

¥13,961

10%対象

¥13,961 (内消費税

¥1,269)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1
登録番号: T2070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済



2864334017	IB09KB	テックランド	¥3,919
IPソケット	1:持帰	外10	
2864337018	IB09YB	テックランド	¥1,273
IPソケット	1:持帰	外10	
2864338015	IB09CL4B	テックランド	¥7,500
IPソケット	1:持帰	外10	
小計			¥12,692
+消費税			¥1,269
税込計			¥13,961
合計			¥13,961
(内消費税)			¥1,269
10%対象			¥13,961
(内消費税)			¥1,269

感熱紙のため写し保存

資料購入費

領 収 書

No. _____

6年 4月 24日

市民会館 豊田 様

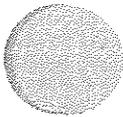
金 額							円
		7	3	7	2	00	

収入
印紙

現金	
小切手	/
手形	/
値引	
消費税額(%)	
合計	

上記金額正に領収致しました

但 福井新聞購読料 (令和6年4月~令和7年3月)



福井新聞 売店
 代表取締役 朗
 〒914-0035 敦賀 番地
 TEL 00

係印